

消費者に対する調査について（案）

平成28年1月29日

消費者庁

消費者意識調査について(案)

【目的】

- ・ 平成23年に実施した食品表示に関する消費者調査では、加工食品の原料原産地表示に対する消費者の関心は高かった。今回、加工食品の原料原産地表示制度の検討を行うに当たって、改めて、現在の加工食品の原料原産地表示に対する消費者の意識を把握する。

【調査方法】

- ・ 一般消費者を対象としたアンケート調査。

【調査対象】

- ・ 全国の一般成人消費者を対象とし、おおむね日本の人口構成に合わせた年代、地域等別のそれぞれ男女。

【調査内容】

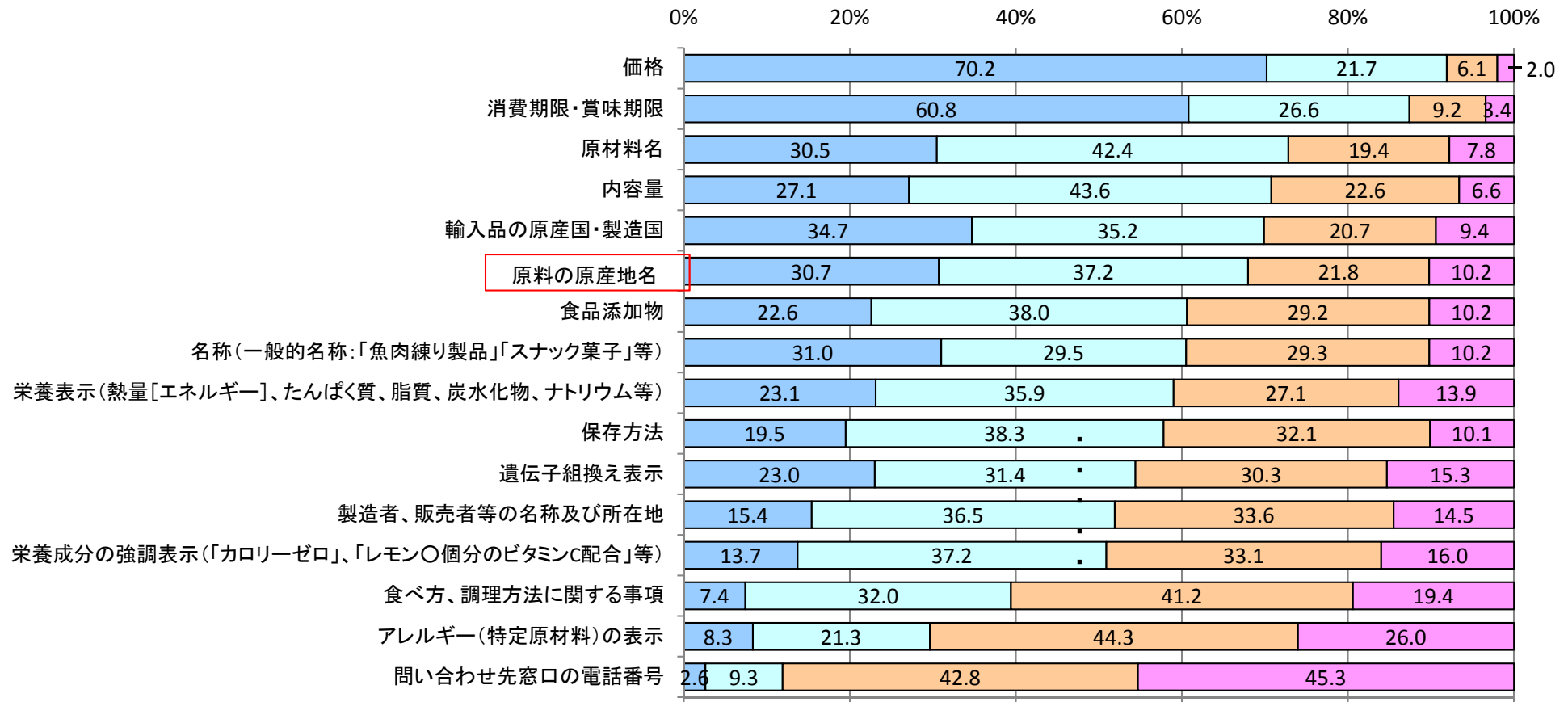
- ・ 加工食品の原料原産地表示に対する消費者の一般的な認識度や購買意欲への影響、意見・要望等

【参考】一元化検討会時の消費者意向調査結果(抜粋)

(平成23年12月27日～28日実施)

加工食品を購入する際に、商品選択のために、「いつも参考にしている」若しくは「ときどき参考にしている」表示項目としては、「価格」(91.9%)が最も多く、次いで「消費期限・賞味期限」(87.4%)、「原材料名」(72.9%)、「内容量」(70.7%)、「輸入品の原産国・製造国」(69.9%)、「原料の原産地名」(67.9%)の順となった。

Q5 あなたは、加工食品を購入する際、以下に示す食品表示の項目を、商品選択(買うか買わないかを決める)のために、どの程度参考にしていますか。(それぞれひとつ)(n=1,083)



■ いつも参考にしている
 ■ ときどき参考にしている
 ■ あまり参考にしていない
 ■ 全く参考にしていない